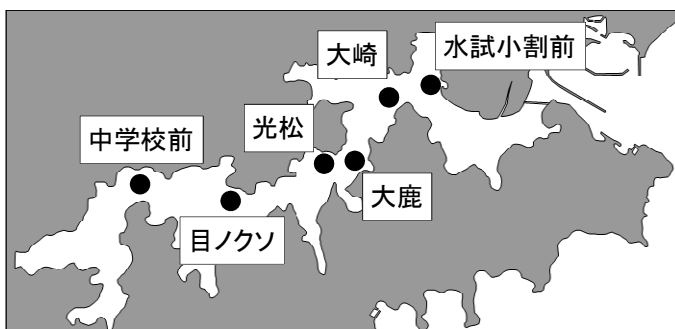


プランクトン調査結果のお知らせ

平成25年6月19日午前9時から浦ノ内湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。  
湾内の透明度は0.5～2.3mで、大崎から湾奥側では着色が見られました。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモイが最高8,560cells/ml確認され、被害が想定される細胞密度に達していました。餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。  
海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

	水深	カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ	ケラチウム・フルカ	プロロセントラム・デンタータム
中学校前	0m	5	0	0	2	0
	2m	3,100	4	138	1	100
	5m	33	1	61	0	320
目ノクソ	0m	2	0	1	7	0
	2m	56	1	15	1	30
	5m	8	2	15	0	710
光松	0m	104	2	7	14	50
	2m	179	0	25	7	640
	5m	3	0	5	1	2,100
大鹿	0m	6,850	1	15	10	160
	2m	1,400	0	17	3	1,800
	5m	24	0	8	0	740
大崎	0m	6,900	2	0	7	320
	2m	8,560	0	18	10	4,400
	5m	44	0	5	1	1,800
水試小割前	0m	0	0	0	1	0
	2m	101	0	3	2	60
	5m	12	0	3	1	390

(cells/ml)



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/ml(へい死)
  - シャットネラ属: 10～100cells/ml(へい死)
  - ディクチオカ・フィビュラ: 赤潮発生時(へい死)
  - ケラチウム・フルカ: 100cells/ml(餌食いの悪化)